

関連項目：教育活動プラン①

## 児童のよさを見つけ、全校生の前で賞賛する

### 目的

本校は小規模校であり、アンケート結果によると自尊感情が低い児童が多いです。そこで、児童ががんばっているところやよい行いをしているところを見つけ、全校生の前で賞賛することで自己有用感を高めました。

### 内容

#### ● りんごの実カードの作成

生活委員会がりんごの実カードの様式を作成し、各学級に配布しています。

児童や教師が、学校生活の中で児童ががんばっているところやよい行いをしている児童を見つけます。

児童は同じ学年の児童に限らず、上級生や下級生のがんばっているところやよい行いの内容を金曜日のランチルーム給食の前までにりんごの実カードに記入しています。

#### ● あいさつキングの決定

なかよし委員会が当番制で登校後すぐに、児童玄関で全校生に朝のあいさつ運動を行っています。

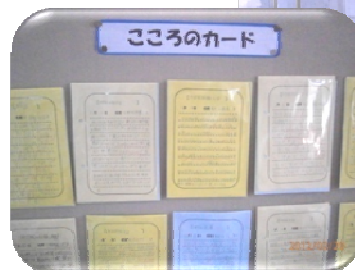
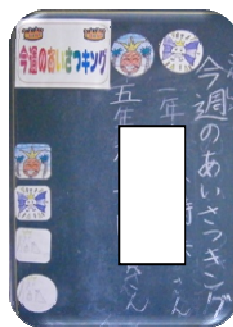
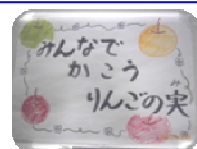
あいさつのレベルを決め、児童はそれを目標に取り組んでいます。

なかよし委員会は、金曜日のあいさつ運動の後に上学年と下学年からあいさつキングを1名相談して選んでいます。

#### ● 全校生の前で賞賛

金曜日のランチルーム給食の時に、記入したりんごの実カードを持ち寄り、全校生の前で発表します。その時、発表者は、前に出て自分の言葉で伝え、また、対象者はその場で起立して賞賛を受けます。りんごの実カードは、ランチルーム入口にあるりんごの木に貼っていき、たくさんのりんごの実がなるようにしています。

あいさつキングも同様に、金曜日のランチルーム給食の時に、なかよし委員会の児童が表彰します。選ばれた児童は、前に出て行き、賞状をもらいます。その時に、選ばれた理由も発表し、他の児童の意欲付けにしています。



### 成果

- りんごの実を書くことで、児童が学校生活の中で友達のよさを見つけようとしています。また、賞賛された児童も友達のよさを見つけようとして取り組んでいます。
- あいさつキングのレベルを決めて取り組むことで、児童は立ち止まり、相手の目を見てあいさつができるようになってきました。また、地域の人にもしっかりとあいさつができている児童が増えました。
- 全校生の前で賞賛することで、児童の自己有用感が高まってきました。